

行政評価票

整理番号【24】

⑤補助金・交付金

予算事業名	勤労青少年ホーム管理運営費	010365	作成部課	産業経済部 産業政策課
補助金名	浜田市勤労青少年ホーム祭補助金		作成者(内線)	商工係長 永見 監(418)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	-	その他	予算費目(会計)	01	一般会計	
中分類(施策)			予算費目(款)	05	労働費	
小分類(中施策)			予算費目(項)	01	労働費	
個別計画			頁	予算費目(目)	02	勤労青少年ホーム費
55億円財源計画						
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業		
目的	対象	ミュージックフェスティバル実行委員会	意図	勤労青少年団体の交流及び市民への存在認識を深める。		
内容	事業実施にかかる会場使用料等の経費に対して補助					
開始年度	平成	15年度	根拠法令・要綱等			

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	120	98	120	参加者	人	242	457	300	
財源内訳	国庫支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	120	98						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	182	157	179						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
参加者	目標値	300	人	300	300	300	
	実績値	242		457	300		
	達成度	81%		152%	100%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	現在の利用登録団体は21団体99名であり、ほとんどが音楽系サークルである。音楽を楽しむ団体が一同に会して平素の練習成果を団体自身が企画したホーム祭で発表する。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	若者が主体的、自立的に活動し、個々の可能性を引き出せる自己啓発の場となるよう引き続き支援する。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・青少年育成の観点から評価。また、全体事業費に占める市補助金の割合が高く継続と判断 ・団体自体がチケット販売にも努力しており、評価できる。

行政評価票

整理番号【25】

⑤補助金・交付金

予算事業名	商工業振興事務費	010519	作成部課	産業経済部 産業政策課
補助金名	後継者等育成支援事業補助金		作成者(内線)	商工係長 永見 監(418)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-2	活力ある商工業の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-2-3	中小企業の振興と産業を支える人材の育成	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			予算費目(目)	02	商工業振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田商工会議所、石央商工会	意図	独自に制度を設け後継者等の育成を行っている商工会議所等に対し、その事業に要する経費の一部を補助することにより、中小企業の経営者、後継者等の育成を支援することを目的とする。	
内容	浜田商工会議所及び石央商工会の会員が中小企業大学校において開催された研修の参加経費に対する補助 1人あたり上限3万円×1/2				
開始年度	平成 14 年度	根拠法令・要綱等	浜田市後継者等育成支援事業補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	18	14	90	研修参加者	人	2	2	6	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	18	14	90						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	80	73	149						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	研修参加者	目標値	実績値	人	6	2	6
	達成度			33%	33%	0%	
	目標値	実績値					
	達成度						

【現状と課題】  
事業開始からの状況変化等  
浜田商工会議所及び石央商工会の会員を対象とし、これらと協調する形でかかった経費の一人あたり上限3万円を1/2づつ補助している。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	中小企業の経営者や後継者の資質向上の一助として支援することで、企業の振興と地域の活性化に寄与する
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・商工会議所と折半であり、中小企業育成の面から必要

行政評価票

整理番号【27】

⑤補助金・交付金

予算事業名	ビジネスフェア中四国開催事業	010527	作成部課	産業経済部 産業政策課
補助金名	出展経費補助金		作成者(内線)	商工係長 永見 監(418)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-2	活力ある商工業の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-2-2	地域に活力を与える製造業の振興	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			予算費目(目)	02	商工業振興費
55億円財源計画			頁		
実施主体	補助【企業】		事業区分	任意の事業	
目的	対象 中小企業者	意図	中四国地域連携軸上に位置する浜田、広島、松山、高知の各市及び各商工会議所が協力して、これらの地域の製造業者や卸・小売業者等を対象とした消費財見本市・商談会を開催し、参加企業・団体の販路拡大を支援するとともに、地域間の経済交流の促進を図る。		
内容	(1) 出展料補助金 出展料の1/2を助成する。・大小間 45,000円 × 1/2 = 22,500円 ・中小間 30,000円 × 1/2 = 15,000円 (2) 出展経費補助金 運送費、宿泊費、人件費、交通費(高速料)など出展料以外で出展に要した経費の1/2(50,000円上限、千円未満切捨)				
開始年度	平成 14 年度	根拠法令・要綱等			

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	712	557	798	出展者数	社	9	10	10	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	712	557	798						
職員数(人)	0.08	0.08	0.08						
人件費(千円)	492	474	474						
総事業費(千円)	1,204	1,031	1,272						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	成約件数	目標値	件	10	10	10	
		実績値		11	1		
		達成度		110%	10%	0%	
	目標値						
	実績値						
	達成度						

【現状と課題】  
事業開始からの状況変化等  
浜田市の出展者も第1回目の5社から10社に増加した。約400社のバイヤー、一般入場者も4,000人規模であり、絶好のビジネスマッチングの場となっている。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	約400社のバイヤー、一般入場者も4,000人規模であり、ビジネスマッチング、販路開拓、拡大には絶好の機会であり、出展者同士の交流も図られている。また、出展者募集については市報、市ホームページにて周知を図っている。
	有効性	3	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>出展経費(宿泊等)への助成は縮減していくべき。</li> <li>継続参加している企業へは、ある程度見直しが必要ではないか。</li> </ul>

行政評価票

整理番号【28】

⑤補助金・交付金

予算事業名	地場産業振興事業	010991	作成部課	産業経済部 産業政策課
補助金名	「じばさんフェスタ」開催補助金		作成者(内線)	前木俊昭(413)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-2	活力ある商工業の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-2-2	地域に活力を与える製造業の振興	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			予算費目(目)	02	商工業振興費
55億円財源計画	6	5	6	地場産業祭補助金	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	(財)島根県石中央地域地場産業センターが行う「じばさんフェスタ」開催補助金	意図	伝統ある地場産品に対する認識を高める。消費者と生産者との交流を深める。	
内容	(財)島根県石中央地域地場産業センターが毎年3月に行う「じばさんフェスタ」開催への補助金 平成21年度で25回目の開催となる。H20総事業費 120万円(江津市60万円・浜田市55万円・センター5万円) ※(財)島根県石中央地域地場産業センターの理事長は江津市長、浜田市長は理事。				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	浜田市地場産業祭開催補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	550	550	300	参加企業・団体数	社	45	49		
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源									
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	550	550	300						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	フェスタへの来場者数	目標値		人			
実績値			5,900		7,000		
達成度							
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	浜田市が実施している内容は、補助金の支出と広報によるフェスタのPRのみ。 来場者は増加傾向にあり、石見焼を中心に地場産業の認知度は高まってきている。 ただし、各地場産業の売り上げ増に結びついているかは不明。 <参考>平成17年度 来場者約5,300人 約400万円の売り上げ。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	
	有効性	2	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	既に平成21年度当初に見直しており、適当と判断

# 行政評価票

整理番号【29】

⑤補助金・交付金

予算事業名	浜田市特産品協会助成事業	010990	作成部課	産業経済部 産業政策課
補助金名	浜田市特産品協会補助金		作成者(内線)	商工係長 永見 監 (418)

## I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-2	活力ある商工業の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-2-2	地域に活力を与える製造業の振興	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			予算費目(目)	03	観光費
55億円財源計画			頁		
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市特産品協会	意図	特産品の販路開拓・拡大や研修、調査研究を支援し、特産品の販売促進や商品開発の推進に寄与する	
内容	市内の特産品関連業者で組織する浜田市特産品協会へ補助する(300千円)				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	浜田市特産品協会補助金交付要綱(内規)	

## II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考	
事業費(千円)	300	300	300	展示会等出展者 (延べ業者数)		46	30	30		
財源内訳	国庫支出金									
	地方債									
	特定財源									
一般財源	300	300	300							
職員数(人)	0.01	0.01	0.01							
人件費(千円)	62	59	59							
総事業費(千円)	362	359	359							

## III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等	
	展示会等出展者(延べ業者数)	目標値			30	30	30	
		実績値			46	30		
		達成度			153%	100%	0%	
	目標値							
	実績値							
	達成度							

【現状と課題】  
事業開始からの状況変化等

販路開拓のため、各種展示会等への出展、研修会、各市人会へ特産品の提供、定期的にパンフレットの更新を行っている。

## IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	各種展示会等へ積極的に参加し、浜田市特産品のPRに貢献し、販路開拓にもつなげている。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の基本的な見直しが必要</li> <li>・他の方法で特産品振興をはかるべきではないか。</li> </ul>

行政評価票

整理番号【30】

⑤補助金・交付金

予算事業名	浜田市人会事業	010559	作成部課	産業経済部 産業政策課
補助金名	夏季青少年体験事業補助金		作成者(内線)	商工係長 永見 監 (418)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-6	企業誘致や新産業による雇用の促進	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-6-1	地域の特性を活かした企業誘致	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			頁	予算費目(目)	05 企業誘致対策費
55億円財源計画	6	5	10	浜田市人会の見直し	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	関西浜田会及び浜田市で組織する実行委員会	意図	浜田市内小中学生の夏休みの社会体験として関西地区のテーマパーク等の見学を実施し、子どもたちの見聞を広めるとともに協調性の醸成や交流の輪の拡大を図る。	
内容	旅行に係る経費を参加者負担金で賄うが、その不足分を25万円を限度に補助する。				
開始年度	平成	13	年度	根拠法令・要綱等	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	250	61	250	児童生徒参加者	人	114	123		
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	250	61	250						
職員数(人)	0.13	0.13	0.13						
人件費(千円)	800	771	771						
総事業費(千円)	1,050	832	1,021						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	児童生徒参加者	目標値		人	100	100	
実績値				114	123		
達成度				114%	123%	0%	
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】	事業開始からの状況変化等 小学5年から中学2年までを対象しているが、事業が認知され、参加者が増加している。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	関西浜田会と浜田市との共同事業であり、浜田市内小中学生の夏休みの社会体験として関西地区の施設、テーマパーク等の見学を実施し、子どもたちの見聞を広めるとともに協調性の醸成や交流の輪の拡大を図られている。周知・募集については対象学年の全世帯にチラシを配布している。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業は必要であるが、参加者負担金で事業費捻出を目指し、補助金額を縮小すべき。</li> <li>削減計画に沿った見直しを進められたい。市職員人件費(7人)が相当かかっている。</li> </ul>

行政評価票

整理番号【32】

⑤補助金・交付金

予算事業名	農業制度資金利子補給事業	11072	作成部課	産業経済部 農林課
補助金名	農業近代化資金利子補給金		作成者(内線)	農政係 奥田 健一(427)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-1	農地の利活用と環境保全に根ざした営農活動を推進	予算費目(項)	01	農業費
個別計画			予算費目(目)	02	農業総務費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	融資機関(JA)	意図	利子補給を行うことにより、農業者等の資本装備の高度化及び、農業経営の近代化を図る。	
内容	農業近代化資金を貸し付ける融資機関に対し、この規則に定めるところにより当該資金に係る利子補給金を交付する。 利子補給対象資金については以下のとおり。 農業振興資金、地域農業総合整備資金(水田農業確立型)、水田農業確立資金、農作業受委託推進資金、農業経営資金				
開始年度	昭和 45 年度	根拠法令・要綱等	浜田市農業近代化特別資金利子補給規則		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	9	5	159	利子補給者	経営体	2	2	2	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	9	5	159						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	71	64	218						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	利子補給額	目標値		千円	10	10	
実績値				9	5	—	
達成度				90%	50%	—	
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】	事業開始からの状況変化 等 農家の高齢化や、高齢化不足に伴い設備投資ができる農家が減少している。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	農業団体の事業費の借り入れの返済に関する利子補給ということから、農業団体の発展のため、今後も必要である。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県と協調した利子補給であり、市が実施しなければ県も実施しないという理由から削減は困難</li> <li>・島根県が事業を止め、市で全額助成することにならないようにする必要がある。</li> </ul>

行政評価票

整理番号【33】

⑤補助金・交付金

予算事業名	農業制度資金利子補給事業	11072	作成部課	産業経済部 農林課
補助金名	担い手法人育成対策利子補給金		作成者(内線)	農政係 奥田 健一 (427)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-1	農地の利活用と環境保全に根ざした営農活動を推進	予算費目(項)	01	農業費
個別計画			予算費目(目)	02	農業総務費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	農業団体(認定農業者、農業参入法人)	意図	農業法人に対して、担い手法人育成対策利子補給金を交付することにより、効率的かつ安定的な農業経営の育成及び地域農業の持続的な発展を図ることを目的とする。	
内容	貸し付け利率については、担い手法人育成対策利子補給金交付要綱(平成18年島根県告示第392号)第2条の規定により知事が別に定める率と同率とする。なお、対象資金は以下のとおり。 農業近代化資金、農業経営基盤強化資金、経営体育成強化資金				
開始年度	平成 18 年度	根拠法令・要綱等	浜田市担い手法人育成対策利子補給金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	242	502	799	利子補給者数	経営体	2	1	2	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	242	502	799					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	304	561	858						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	利子補給額		千円	目標値 200 実績値 242 達成度 121%	300 502 167%	799 — —	
			目標値 実績値 達成度				
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	島根県担い手法人育成対策利子補給金交付要綱の一部改正に合わせて、平成21年4月から、利子補給対象者の追加(農業参入法人)や、事業実施期間の延長など見直しを行った。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	農業団体の事業費の借り入れの返済に関する利子補給ということから、農業団体の発展のため、今後も必要である。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県と協調した利子補給であり、市が実施しなければ県も実施しないという理由から削減は困難</li> <li>島根県が事業を止め、市で全額助成することにならないようにする必要がある。</li> </ul>



行政評価票

整理番号【34】

⑤補助金・交付金

予算事業名	農業制度資金利子補給事業	11072	作成部課	産業経済部 農林課
補助金名	スーパーL資金利子補給金		作成者(内線)	農政係 奥田 健一 (427)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-1	農地の利活用と環境保全に根ざした営農活動を推進	予算費目(項)	01	農業費
個別計画			予算費目(目)	02	農業総務費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	農業団体等	意図	自主性と創意工夫を生かして効率的かつ安定的な経営体を目指す農業者を支援するため。	
内容	利子補給金額については、下記掲げる財政投融资に係る利率の区分に応じ、当該借入金利子額を同表の中欄に掲げる実質貸付利率で除して得た金額に同表の右欄に掲げる利子補給率を乗じて得た金額とする。 財政投融资に係る利率 実質貸付利率 利子補給率 年5.0%未満 年2.5% 年0.25% 年5.0%以上6.5%未満 年2.83% 年0.165%				
開始年度	平成	7年度	根拠法令・要綱等	浜田市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	461	627	673	利子補給人数	経営体	14	15	16	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	461	627	799						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	523	686	732						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	利子補給額	目標値		千円	500	600	
実績値				461	627	—	
達成度				92%	105%	—	
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの状況変化等 利子補給額は年々増加傾向にある。							

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	農業団体の事業費の借り入れの返済に関する利子補給ということから、農業団体の発展のため、今後も必要である。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・島根県と協調した利子補給であり、市が実施しなければ県も実施しないという理由から削減は困難 ・島根県が事業を止め、市で全額助成することにならないようにする必要がある。

行政評価票

整理番号【36】

⑤補助金・交付金

予算事業名	棚田保全事業	0010410	作成部課	産業経済部 三隅支所 産業課
補助金名	棚田保全対策補助金		作成者(内線)	水産係長 三澤弘見(32-117)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-1	農地の利活用と環境保全に根ざした営農活動を推進	予算費目(項)	01	農業費
個別計画			頁	予算費目(目)	03 農業振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【NPO・自治会】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	両谷連合自治会	意図	中山間地域の農産物の特産化と、棚田の保全、景観維持との連携を図り、集落活動の活性化を図る。	
内容	米づくり部会外2部会の運営を行い、中山間地域に根付いた農業振興と、棚田の保全、景観の維持活動を実践するとともに、平成13年秋からその活動の発表の場として、「室谷の棚田まつり」を、地元両谷連合自治会主催で継続的に実践して、県内外から好評を得ている。				
開始年度	平成 13 年度	根拠法令・要綱等	両谷ふるさと塾事業費補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	300	300	300	棚田まつり参加人員	人	850	800	800	
財源内訳	国県支出金			活動部会数		3	3		米づくり部会 山野草部会 郷土食研究部会
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	300	300		300				
職員数(人)	0.17	0.17	0.06						
人件費(千円)	1,022	1,008	362						
総事業費(千円)	1,322	1,308	662						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	部会の活動	目標値			3	3	
実績値				3	3	3	
達成度				100%	100%	100%	
室谷の棚田まつり	目標値			800	800	800	
	実績値			850	800	800	
	達成度			106%	100%	100%	
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	平成11年度に「棚田百選」に決まったことを契機に活動が活発化し、観光協会、石正美術館の協賛も加わって今日に至り、近年は特に県外からの来場者も多く、高齢化率41%の自治会が元気である。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	必要性、有効性については、高齢化率の高い集落民が共通の目的を持ち、活動を継続的に実践している観点から4とした。 また、公平性、妥当性については、事業展開から8年経過、及び補助の見直しがなされていないことから、3とした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	A	・中山間地域における棚田保全、景観維持などの必要性は十分に認められる。

行政評価票

整理番号【41】

⑤補助金・交付金

予算事業名	家畜共進会	010430	作成部課	産業経済部 農林課
補助金名	家畜共進会補助金		作成者(内線)	向原 寿和(422)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-3	環境負荷を軽減する畜産経営の推進	予算費目(項)	01	農業費
個別計画			頁	04	畜産業費
55億円財源計画	6	5	16	家畜共進会補助金の見直し	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	家畜共進会(和牛農家)	意図	畜産振興を図るため種畜共進会を開催し改良意欲と、農家所得の向上安定に寄与するための事業。	
内容	浜田市、江津市、JAいわみで負担金を出費し、いわみ種畜共進会や西部地区子牛共進会等を開催し、島根県種畜共進会に出品する。(市町村均等割 4万円、出品頭数×1,000円を負担)				
開始年度	平成	12	年度	根拠法令・要綱等	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	428,000	431,000	271,000	共進会	回	2	2	2	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	428	431	271					
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	428,062	431,059	271,059						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	いわみ種畜共進会出品頭数	目標値	頭	15	15	15	島根県から優良な和牛を全国へ出品できることを目標とする。
	実績値		14	10			
	達成度		93%	67%	0%		
西部地区子牛共進会出品頭数	目標値	頭	10	10	10	子牛経営も非常に厳しい状況にあるが、出品数が10頭以上になることを目標とする。	
	実績値		5	6			
	達成度		50%	60%	0%		
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	合併して3年が経過し、平成20年度までは、浜田市として従来の5市町分それぞれとして、1地区40,000円*5=200,000円負担していたが、平成21年度からは、浜田市を一本化して支払うことをJAに承諾してもらい、160,000円の減額分を負担金として支払うこととしている。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	飼料の高騰化や高齢者問題等、畜産農家を取り巻く情勢は非常に厳しい現状であり、今をできる限り支えてあげる必要があると判断する。今後、全国で優良な島根和牛が誕生することを期待することから必要性、有効性を4とした。 また、畜産農家を維持していく課題は多々あり、県や国などと連携しながら取り組むべきと考える。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	B	・JA、江津市、浜田市で協議し、55億円財源計画に沿って減額すべき。

行政評価票

整理番号【45】

⑤補助金・交付金

予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業	010483	作成部課	産業経済部 水産課
補助金名	漁業近代化資金利子補給金		作成者(内線)	水産係長 吉田 浩(77-22-353)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-4	浜田漁港の活用やつくり育てる漁業の推進	予算費目(項)	03	水産業費
個別計画			頁	02	水産業振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	融資機関 (法第2条第2項に定める融資機関)	意図	漁業者等に対し、融資機関が行う長期かつ低利の施設資金等の融通を円滑にするため、市が利子補給を行うことにより、漁業者等の資本装備の高度化を図り、その経営の近代化に資する。	
内容	融資機関が貸付した金額に対し、年1分の割合で計算した額を限度として利子補給金を支給。期間は貸付を受けた日から原則2箇年(総トン数20トン未満の漁船については、3か年に延長可能)。				
開始年度	昭和 44 年度	根拠法令・要綱等	漁業近代化資金融通法・浜田市漁業近代化資金の利子補給に関する条例		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	1	0	692	利子補給件数	件	1	0	5	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	1	0	692					
職員数(人)	0.01	0.01	0.02						
人件費(千円)	62	59	119						
総事業費(千円)	63	59	811						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	浜田漁港水揚金額	目標値	6,000,000	千円	6,000,000	6,000,000	
実績値		7,067,667	6,952,656		-		
達成度		118%	116%				
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	水産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるため、近年、漁業者等による近代化・高度化を図るための資本整備件数が減少している。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	漁業者等に対し融資機関が行う長期かつ低利の施設資金等の融通を円滑にするため、市が利子補給を行うことにより、漁業者等の資本装備の高度化が図れ、また、経営の近代化に貢献できるため、必要性・有効性は4とした。利子補給先の融資機関は、法に定めのある機関であり、利子補給率についても規則に定められた率であるため、公平性・妥当性は4とした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・当市の漁業者の経営環境を考えると、継続せざるを得ない。

行政評価票

整理番号【47】

⑤補助金・交付金

予算事業名	漁業振興対策補助事業	作成部課	産業経済部 旭支所 産業課
補助金名	八戸川水系魚族増養殖事業補助金	作成者(内線)	農林振興係長 坂根国博(77-45-261)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅲ 自然環境を活かした潤いのあるまち	予算費目(会計)	01
中分類(施策)	Ⅳ-1 地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06
小分類(中施策)	Ⅲ-1-1 地域の特性を大切にしたい景観づくりの推進	予算費目(項)	03
個別計画	頁	予算費目(目)	02
55億円財源計画	漁業振興対策補助事業		
実施主体	補助【民間その他】	事業区分	任意の事業
目的	対象 八戸川漁業協同組合	意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>釣り客の増加による漁場の監視強化</li> <li>河川清掃整備体制の強化</li> <li>強化体制実施のため平成20年度から漁場監視及び河川パトロールは2名体制で実施</li> <li>放流事業に対し助成を行い釣り客の増加をはかる</li> </ul>
内容	運営費の一部を補助する。		
開始年度	平成 3 年頃	根拠法令・要綱等	浜田市内水面漁業振興対策事業補助金交付要綱(内規)

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	100	300	300	漁場監視人の増員	人	1	2	2	
財源内訳	国県支出金			遊漁期間内における河川清掃作業実施	回	2	3	3	
	地方債								
	特定財源								
	100	300	300	稚鮎放流数	尾	389,000	420,000	420,000	
職員数(人)	0.01	0.02	0.02						
人件費(千円)	62	119	119	うなぎ放流数	尾	2,100	2,000	2,000	
総事業費(千円)	162	419	419	やまめ放流数	尾	30,000	30,000	30,000	

III. 事業の成果指標と目標値

事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等	
成果指標	漁場監視人の増員	人	目標値	1	2	2	2
			実績値	1	2	2	
			達成度	100%		100%	
	遊漁期間内における河川清掃作業実施	回	目標値	2	3	3	5
			実績値	2	3	3	
			達成度	100%	100%	100%	
	稚鮎放流数	尾	目標値	400,000	380,000	380,000	H19 H20 うなぎ 目標 2,000尾 2,000尾 実績 2,100尾 2,000尾 達成度115% 100% やまめ 目標 30,000尾 30,000尾 実績 30,000尾 30,000尾 達成度100% 100%
			実績値	389,000	420,000		
			達成度	97%	111%		
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	監視員の増員により、違反者が減少した。また、清掃作業の徹底により、綺麗な環境下でアユ釣り等が満喫できた。 毎年釣り大会等の行事及び地域のまつりへの出店協力を行い地域振興に貢献している。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	必要性と公平性については、補助金による対象者が釣り客等に限定される傾向が強いため、3と評価した。(清掃による環境美化については、十分評価できる。)水産資源の維持保全及び地域振興につながる事業のため有効性を4と評価した。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	B	既に削減計画が策定されており、計画に沿った削減を行うこと。

行政評価票

整理番号【48】

⑤補助金・交付金

予算事業名	漁業振興対策補助事業	10496	作成部課	金城支所 産業課
補助金名	周布川水系魚族増殖事業補助金		作成者(内線)	林 留実 (77-42-272)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	IV-1-4	浜田漁港の活用やつくり育てる漁業の推進	予算費目(項)	03	水産業費
個別計画			頁	02	水産業振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	周布川漁業協同組合	意図	事業に要する費用の一部を補助し、内水面漁業の振興を図る。	
内容	浜田市金城町内周布川流域において鮎、鰻、やまめ稚魚及び稚蟹の放流事業に対する助成を行う。				
開始年度	平成	3年頃	根拠法令・要綱等	浜州市内水面漁業振興対策事業補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	180	180	180	稚鮎放流	kg	800	760	800	
財源内訳	国県支出金			うなぎ放流	kg	100	100	100	
	地方債								
	特定財源			稚がに放流	kg	100	160	200	
	一般財源								
職員数(人)	0.00	0.00	0.00	やまめ放流	kg	800	785	800	
人件費(千円)	12	12	12						
総事業費(千円)	192	192	192						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	鮎、鰻、やまめ稚魚及び稚蟹の放流回数	目標値		回/年	7	7	
実績値				9	9	-	
達成度				129%	129%		
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	汚水等による水質悪化、不況による入り込み客の減少及び組合員の高齢化が懸念される。 開始当初の補助金額は、年間200,000円であったが、見直しをし、平成16年度から現在の年間180,000円としている。 全体経費は、平成19年度5,790,550円、平成20年度5,773,350円となっている。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	現在、鮎、鰻等の釣り漁の入り込みも順調であり、小学生による放流体験を毎年行っている。また、平成20年度には、水辺の水生昆虫会で、専門員により最もきれいな川としてランク付けされた。 本事業は、水産資源の維持保全及び地域振興につながる必要なものである。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・金額の根拠不明。若干の削減可能ではないか。 ・全体事業費の中で妥当な助成と考える。

行政評価票

整理番号【49】

⑤補助金・交付金

予算事業名	外国人漁業研修生受入対策事業	010973	作成部課	産業経済部 水産課
補助金名	外国人漁業研修生受入協議会負担金		作成者(内線)	水産係長 吉田 浩(77-22-353)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	VI	市民とともに創り育てるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	VI-5	国際化、地域間交流の推進	予算費目(款)	06	農林水産業費
小分類(中施策)	VI-5-1	多文化共生社会の実現	予算費目(項)	03	水産業費
個別計画			頁	02	水産業振興費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	外国人漁業研修生受入協議会	意図	外国人漁業研修生対象に、漁労技術等の研修によって人材の育成を図ることにより、漁労技術の移転を目的とした国際貢献に資する。	
内容	漁業研修に係る経費について、市が1/2相当額を負担し、受入団体が残額を負担。				
開始年度	平成 9 年度	根拠法令・要綱等	出入国管理及び難民認定法・外国人漁業研修生受入協議会規約		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	0	5,012	6,441	受入研修生数	人	0	11	10	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源		5,012	6,441						
職員数(人)	0.00	0.03	0.03						
人件費(千円)	0	178	178						
総事業費(千円)	0	5,190	6,619						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
技能実習移行人数	目標値	10	人	10	-	11	
	実績値	9		9	-	-	
	達成度	90%		90%	-	-	
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	事業開始時の平成9年度から平成20年度までは、フィリピンから研修生を受入れしてきたが、漁業関係者の意向により、平成21年度からは、インドネシアから研修生を受入れすることになった。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	漁労技術等の研修によって外国人の人材育成を図ることにより、漁労技術の移転を目的とした国際貢献に資することができるため、必要性・有効性は4とした。また、漁業研修に係る経費についての市負担率は、1/2以上と定められたものであり、公平性・妥当性は4とした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・漁業者にとって雇用情勢を考えると、外国人研修生は欠かせない。実質的な市民負担が生じないことから継続すべき。

行政評価票

整理番号【50】

⑤補助金・交付金

予算事業名	観光振興事業	10531	作成部課	弥栄支所 産業課
補助金名	ふるさと体験村入浴割引券助成事業		作成者(内線)	三浦一美(77-48-21)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-5	地域資源を活かした観光の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-5-4	観光団体への助成と連携による観光事業の推進	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			頁	03	観光費
55億円財源計画					
実施主体			事業区分	任意の事業	
目的	対象	(財)ふるさと弥栄振興公社	意図	ふるさと体験村の入込み客数の増加及び弥栄自治区の観光振興を図る。	
内容	ふるさと体験村入浴割引の実施に対して、その事業に要する経費の一部を補助する(現在は1/2補助)。なお、補助金の額は60万円以内。				
開始年度	平成 11 年度	根拠法令・要綱等	ふるさと体験村入浴割引券助成金交付要綱(内規)		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	573	439	600	割引券利用数	枚	2,863	2,194	3,000	
財源内訳	国県支出金			割引券配布枚数	枚	8,005	7,325	7,565	自治区住民当たり5枚を配布
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	573	439						
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	25	24	24						
総事業費(千円)	598	463	624						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	ふるさと体験村入込客数	目標値		人		25,329	
実績値		24,478	22,145				
達成度			87%		0%		
目標値							
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	入込客数は、事業開始次年度から徐々に減少しており、平成15年度あたりから横ばいの状況であった。平成18年度に一旦盛り返したものの、このところの経済状況の悪化により、ここ数年は厳しい状況が予想される。また、近隣の同様施設においても苦戦が伝えられている。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	入込客数を増やすことにより、「ふるさと体験村」を拠点とした観光振興、経済活動の活性化を図ることが必要で有り、必要性は4とした。また、上限額の見直しを行っているため妥当性は4とした。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	C	・体験村への支援、地域の生活支援であれば、他の手法があり得る。 ・公平性に課題



行政評価票

整理番号【51】

⑤補助金・交付金

予算事業名	石見神楽振興事業	10541	作成部課	金城支所 産業課
補助金名	神楽の里・かなぎ共演大会補助金		作成者(内線)	大崎 嘉光 (77-42-275)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-5	地域資源を活かした観光の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-5-1	石見神楽の振興	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			頁	03	観光費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	金城町石見神楽社中連絡協議会	意図	この地域に古くから伝わる石見神楽の保存、伝承活動の継続と後継者の育成及び神楽を通じた交流人口の増加による地域の活性化を目指すひとつの起爆剤として、神楽大会の開催を助成する。	
内容	金城自治区内の神楽社中等11団体で組織する金城町石見神楽社中連絡協議会が、毎年3月中旬の日曜日、ふれあいジムかなぎにおいて開催する「神楽の里・かなぎ共演大会」の開催に要する経費の一部を補助(定額補助)する。大会出演社中は、毎回県外を含む10団体。市補助金の他に入場料、協賛金収入がある。				
開始年度	平成 17 年度	根拠法令・要綱等	神楽の里かなぎ共演大会補助金交付要綱(内規)		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	300	300	300	出演団体数	団体	10	10	10	
財源内訳	国県支出金			入場券販売件数	件	590	419	500	
	地方債								
	特定財源			協賛件数	件	86	78	80	
	一般財源	300	300						
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	300	300	300						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	出演団体数(金城自治区内)		団体	目標値 4	4	4	今後も地元4団体、その他市内5団体、その他1団体の計10団体による共演大会を継続する。
入場者数(入場券販売件数)		人	目標値	727	700	500	目標値は毎年の予算、実績値は入場券販売件数による。500人規模の入場者を確保する。
			実績値	590	419	-	
			達成度	81%	60%		

【現状と課題】 事業開始からの状況変化等 少子・高齢化の進展、若い世代の地域行事離れ等が言われる中、神楽社中の継承活動の衰退化、後継者不足が深刻である。神楽大会開催補助などの間接的な振興策に加えて、社中の活動費助成、後継者の確保対策など、社会教育、民俗文化的観点からの直接的な振興策も求められている。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	区内唯一の神楽振興策であり、継続する必要がある。また、地域におけるボランティア的精神によって継承されている石見神楽の現状から考えると、その振興策として有効な手法は、神楽大会補助の他にも検討されるべきである。平成19年度に補助金額の見直しを行っている。(400千円→300千円)
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>石見神楽が重要な観光資源であることは理解でき、一定の助成は必要</li> <li>各自地区、各観光協会の統一的な助成を検討</li> <li>市全体で、石見神楽によるまちおこしに力点を置くべき。</li> </ul>

行政評価票

整理番号【52】

⑤補助金・交付金

予算事業名	自然体験型観光推進事業	10983	作成部課	産業経済部 観光振興課
補助金名	自然体験型観光推進事業補助金		作成者(内線)	観光振興係長 市原隆志

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般
中分類(施策)	IV-5	地域資源を活かした観光の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-5-2	ツーリズムによる滞在型観光の推進	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			頁		
55億円財源計画			予算費目(目)	03	観光費
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	ツーリズム関連団体	意図	浜田の自然を活かした体験型観光の推進により、経済効果と観光PRが期待される。	
内容	自然体験型観光の受け入れ体制の強化と広報活動を展開する。				
開始年度	平成	20年度	根拠法令・要綱等		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	-	0	300	育成補助団体数	団体	-	0	3	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源									
職員数(人)	-	0.01	0.01						
人件費(千円)	-	59	59						
総事業費(千円)	-	59	359						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	育成補助団体数	目標値	-	件	-	1	1
実績値		-		-	0		
達成度		-		-	0%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	当初、「自然体験型観光推進事業補助金」の名称で、体験型観光に取り組んでいる団体に補助金を交付する目的で設立したが、実情と合致しなかったため、「自然体験型観光推進組織の育成補助金」に名称変更し、団体を育成するための補助金とした。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	「グリーンツーリズム」については、平成19年度まで農林課で所管していた。平成20年度からは観光振興課でグリーン、マリンにかかわらずツーリズムについて所管することとなった。平成20年度はマリンツーリズムのチラシを作成した。(この予算とは別)
	有効性	4	
	公平性	2	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	B	・助成の活用団体が増えないようであれば、定住対策等と絡めて事業再編を行うべき。

予算事業名	自然公園清掃活動助成事業	10985	作成部課	産業経済部 観光振興課
補助金名	自然公園清掃活動助成事業補助金		作成者(内線)	観光振興係長 市原隆志

## I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅱ	豊かな心を育む教育と文化を身近に感じるまち	予算費目(会計)	01	一般
中分類(施策)	Ⅱ-2	生きる力を育む学校教育の充実	予算費目(款)	10	商工費
小分類(中施策)	Ⅱ-2-5	安心して安全な教育環境の整備	予算費目(項)	02	商工費
個別計画			頁	02	観光費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	国府海岸を美しくする会	意図	夏季を中心に海岸清掃を複数回実施。市民の環境美化意識の高揚を図る。	
内容	石見曇ヶ浦をはじめ、浜田海岸県立自然公園の国府海岸の環境美化活動行う事業に対して補助する。				
開始年度	昭和	年頃	根拠法令・要綱等		

## II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	400	400	400	清掃活動回数	回	14	30	35	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	400	400	400						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	1,173	1,263	1,149						

## III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
清掃活動回数	目標値	10	回	10	20	25	
	実績値	14		14	30		
	達成度	100%		100%	100%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	昭和51年に設立以来、海水浴客のごみ対策や漂着ごみ対策にボランティアで取り組み、美しい海岸を保持している。この取り組みが海岸愛護の思想が全市民に広がり、市民団体、企業が海岸清掃活動するようになり、他の模範となっている。						

## IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	今後も海岸清掃美化活動に積極的に取り組んでいただくとともに、他の団体への啓発活動にも期待しているところである。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・費用対効果に優れており、継続すべき。

行政評価票

整理番号【54】

⑤補助金・交付金

予算事業名	和紙の郷運営事業	011182	作成部課	産業経済部 観光振興課(三隅支所産業課)
補助金名	石州和紙伝承事業実施補助金		作成者(内線)	商工振興係長 竹村 博(77-32-112)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	IV	地域資源を活かした産業を創造するまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	IV-1	地域の特性を活かした農林水産業の振興	予算費目(款)	07	商工費
小分類(中施策)	IV-1-5	ブランド化の推進と担い手の育成	予算費目(項)	01	商工費
個別計画			頁	予算費目(目)	03 観光費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	石州半紙技術者会及び石州和紙協同組合に加入する手漉き和紙事業者	意図	手漉き和紙技術の伝承や研究に要する経費の一部を補助し伝統産業の伝承、後継者を育成する	
内容	文化財修復用紙として石州半紙の役割について、和紙職人や国宝修理装 黄師連盟の技師が意見の交換や表装修復の実演を行う研修会の開催経費として100万円を交付した。				
開始年度	平成 20 年度	根拠法令・要綱等	石州半紙伝承事業実施補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21 予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考	
事業費(千円)	0	1,000	1,000	研修会開催数	回		1	1		
財源内訳										
国県支出金										
地方債										
特定財源										
一般財源										
職員数(人)	0.00	0.01	0.01							
人件費(千円)	0	59	59							
総事業費(千円)	0	1,059	1,059							

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
技術者会員数	目標値		人		5	5	現在5人の正・準会員数を5年後には10人に増やす。10年後には15人に増やす。
	実績値				5	5	
	達成度				100%	100%	
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	4人の和紙業者が一年毎に、各々の専門分野に沿った研修会を開催することにしており、平成23年度に一巡目が終了する計画である。ユネスコ登録を含む第1期指定管理期間が終了する平成24年度以降は実績を検証し、事業の見直しや整理が必要であると考え。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	第1期は「石州和紙(半紙)」の評価について、「漉き手」と「使い手」を交えた「意見交換の場」や「国宝修理装演師連盟」会員等第三者の検証により「重要無形文化財保持団体」による「石州和紙(半紙)」の評価を再確認していただく機会を提供することにより、まずは市民の皆さんに「石州和紙(半紙)」の魅力を知っていただくことを主な目標としている。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	B	・事業目的と内容が合致しておらず、平成24年度以降には、基本的なあり方を見直す必要がある。